

N
H
K
オリ
ン
ピ
ッ
ク
ミ
ニ
ド
ラ
マ
6
0
秒

「人馬一体」

脚本
大岡俊彦

○リハビリ施設のトイレ

藤枝（70）「……」

鏡を見る。

笑ってみるが、左半分の表情しか動かない。動かないほうの顔を叩く。

○リハビリ施設内

必死で歩く訓練をしている藤枝。

左半身しか動かない。

看護師「藤枝さん、もう無理でしょう」

藤枝「まだまだ」

看護師「転んだらどうするんですか」

藤枝「……何を言ってるんだ。起き上がる為にリハビリしてんだろ」

看護師、あきれる。

○ベッド

藤枝の孫（16）「じいちゃん」

と和菓子を手に入ってくるが、藤枝のベッドは空。

看護師「あ。藤枝さん、まだリハビリ室なのよ」

孫「根性あるねえ」

孫、ベッド脇の雑誌やスクラップに気づく。馬術大会の写真。

看護師「ほっといたら、治るものも治らなくなるぞって脅しが効いたのかしら？」

切り抜きの見出し「三度目のオリンピック、法華津選手」

「東京、北京、ロンドン」

「愛馬ウイスパール号と」「現役70歳」

愛馬と笑う法華津選手。

孫「いや、……違うね」

○後日、ベッド

孫「散歩行こうよ」と来る。

ベッドの藤枝、杖を取ろうとすると、

「ウイスパー号」とマジックで落書き
がしてあるのに気づく。

藤枝 「……これ、お前か」

孫 「(とぼける) 俺じゃねえよ」

藤枝 「お前の字だろ」

孫 「……気のせいだろ」

ふん、と笑って、力強く杖で立ち上
がる藤枝。

T 「越えよう。自分で決めた限界を。」

オリンピック・パラリンピック」

他コピー案

T 「熱は、その手の中に残るだろう。
東京オリンピック2020」

N
H
K
オリ
ン
ピ
ッ
ク
ミ
ニ
ド
ラ
マ
6
0
秒

「母にケーキを」

脚本
大岡俊彦

○直樹の引きこもりの部屋、夜

暗い部屋でパソコンに向かっている直樹（35）。髪はボサボサ。

直樹の書き込み「俺は屑じゃねえよ」

壁につるしたスーツは埃だらけ。

階段を上ってくる音に、耳を澄ませる直樹。

廊下の外の母（55）とカットバック。

母 「直樹ちゃん、おたんじょうびおめで

とう」

直樹 「……」

母 「あのね」

直樹 「うるせえババア！ 飯だけ置いてけよ！」

母 「ごめんね、ごめんね……」

階段を下りていく音。

直樹、扉を開けると、食事の脇にショートケーキが。

「おたんじょうびおめでとう」のプレートと、三本の蝋燭。

直樹 「……ひきこもり三歳おめでとう、つてか？」

ケーキをつかんで壁に投げつける。

母、階下でその音におびえる。

直樹、イライラしながらテレビをつけると、ちょうど井上康生が表彰台に上がったところ。

まぶしさに消そうとするが、実況の言葉に手が止まる。

実況 前、「井上選手はお母さん子でした。一年お母さんが天国に……」

階段を降りてゆく母のイメージ。

つぶれたケーキ。割れたプレート。

大盛りのごはんからの湯気。

テレビに映る井上選手の母の遺影。

感極まっている井上。

直樹 「いなくなることも、あるんだな……」

○翌日、リビング

母 「え？ あ、あれ？」

スーツを来た直樹。

直樹 「バイト探してくる」

○後日、夜、リビング

母 「おかえり」

直樹のお土産の箱を開けると、台無しにしたケーキと同じものがふたつ出て来る。

母 「……」

母、急いでフォークを取りに行く。

T 「越えよう。(シリーズ的なコピー)
オリンピック・パラリンピック」

他コピー案

T 「熱は、その手の中に残るだろう。
東京オリンピック2020」

N
H
K
オリ
ン
ピ
ッ
ク
ミ
ニ
ド
ラ
マ
6
0
秒

「公
開
へ
ア
バ
ン
ド
」

脚
本
大
岡
俊
彦

○カフェ

コンパクトを見ながら、自分の長い前髪を直している麻由美（20）。
リコ（20）「知ってる？ 前髪の長い女の子って、自分に自信がなくて、人から隠れたいって心理なんだって」

そういうリコも、自分の長い前髪で顔を覆っている。

麻由美「……私たちは、世間から隠れてるってこと？」

リコ「だから、別れたいんだよね。もう付き合おうの、終わりにしようよ」

周囲、二人を見る。

麻由美「え？ ……なに、女同士だから、隠れるって？ 私は気にしてないよ？」

リコ「……」

リコ、突然麻由美の手を、周囲に見えるようにテーブルの上で握る。

麻由美、とっさに周囲を伺ってしまう。

リコ「うそつき」

麻由美「……」

○麻由美の部屋

落ち込んでいる麻由美。

テレビでは、リオ五輪女子ラグビー表彰式で起きたハプニングを伝えている。

実況「えっと、……これはプロポーズのようです。いわゆる、LGBTとでもいいましょうか。オリンピックの場で、女性が女性にプロポーズを……」

テレビの中で抱き合うイザドラとエンヤ。祝福する周囲。

○駅前など、人の往来のあるところ

呼び出したリコに。

麻由美「見たでしょ女子ラグビー！」

リコ「（うなづく）」

麻由美「私、別れないから！ ていうか、ここそしてるのが理由でリコと結婚できないの嫌だから！」

周囲が見ている。

麻由美、ヘアバンドをしてデコを出す。

リコにももう一つ渡す。

麻由美「わたしはあなたが好き！」

周囲が見ている。

リコ「……」

ヘアバンドを受け取り、付けてデコを出す。笑う。

麻由美「かわいい」

二人、周囲の目を気にせず抱き合う。デコ同士こつんと、キス代わりに。

T 「越えよう。昨日までの自分。」

オリンピック・パラリンピック」

他コピー案

T 「熱は、その手の中に残るだろう。東京オリンピック2020」

N
H
K
オリ
ン
ピ
ッ
ク
ミ
ニ
ド
ラ
マ
6
0
秒

「吸
わ
な
い
煙
草
」

脚
本
大
岡
俊
彦

○コンビニ前に止められた車の中

隆 (50)、助手席の母(75)に。

隆 「母さん、煙草買ってくる」

母、カーナビのテレビをつける。

オリンピック柔道の井上が表彰台に上がっている。

隆、煙草を片手に戻ってくる。

母 「あれ？ 私、家に向かっているの？ 施設に行くの？」

隆 「家に帰るの」

母 「あれ？ ああ、ヘルパーさんですよ
ね？ ご苦労様です」

隆 「あ……ああ、はい……」

母 「私にも、ヘルパーさんくらいのどんくさい息子がいますよ」

隆 「……はあ」

母 「いつも『しっかりしなさい』って鍛えたものですよ」

隆 「……鬼母なんですわね」

母 「違いますよ」

母 「私はいつかいなくなるでしょ？ 男の子はね、強くなくちゃ」

隆 「……」

テレビ中継「井上康生、今は亡き、お母さんの遺影を胸に……」

井上、遺影とともに表彰台に。

隆 「……」

隆、煙草を吸おうと。

母 「一本くださいな」

隆 母 「え、煙草吸うの？」

母 「息子を授かってからやめたんだけど。どうせ古い先長くないし」

隆、煙草をしまう。

隆 「……長生き、してくださいよ」

T

「人が生きれば、ドラマだ。」

オリンピック・パラリンピック」

N
H
K
オリ
ン
ピ
ッ
ク
ミ
ニ
ド
ラ
マ
6
0
秒

「切れない鉄」

脚本
大岡俊彦

○古い床屋

主人（50代）が客（同世代）の髪を切っている。

母（80）の遺影と骨壺。

客 「葬式、大変だったな」

主人 「清々したよ」

客 「倒れてから寝たきりで、十年？」

主人 「……清々したよ」

主人は母の写真を見ようとしなない。

客 「聞いたことある？ 床屋が死ぬと、

愛用の鋏が切れなくなるって話」

主人 「聞いたこともねえよ、そんな話」

と、主人の鋏がねじが外れて壊れる。

主人 「母ちゃん、借りるぜ」

鋏の山から、別に分けてあった筒（女

ものの柄）に入っている鋏を取る。

主人 「……？」

客 「どうした？」

切れない。どうやっても切れない。

主人 「なまくらだろこれ」

ついていたテレビからオリンピックが。

柔道の井上康生が、母の遺影を持って

彰台上上がった場面。

テレビ「井上康生、今、亡くなったお母さん

の遺影を持って表彰台上ります。高く高

く掲げました」

客、テレビに夢中。

テレビ「金メダルの報告を、天国にしている

ようであります」

主人、切れない鋏を遺影の前に置く。

主人 「おつかれさまでした、母ちゃん」

主人、涙が止まらなくなってくる。

客はテレビに夢中で気づかない。

T

「熱は、その手の中に残るだろう。

東京オリンピック2020」